

MIYANAVI2026 GYOZA

Utsunomiya City 2026

130th Anniversary

共に創り 輝き続ける うつのみや
未来を拓くまちづくり

市制130周年について詳しくはこちら

全国から選ばれる「交通未来都市うつのみや」を目指して

令和5年8月26日、全線新設のLRTとしては、国内初となる「ライトライン」が開業しました。通勤・通学や買い物、観光での利用など、多くの方に利用いただけており、日常生活の移動手段の一つとして、定着しています。

交通系ICカードを利用すると、公共交通がお得！

バスの上限運賃制度
片道運賃の上限が **400円!**
条件
○午前9時～午後4時の間乗車
○市内での乗り降り
○交通系ICカード(tobra)やSuicaなど利用時

乗継割引制度
ライトライン×バス **100円割引**
ライトライン×地域交通 **200円割引**
バス×地域内交通 **200円割引**
バス×バス **200円割引**
条件
○60分以内の乗り継ぎ
○交通系ICカード(tobra)利用時のみ

オフピー-9バス
ライトライン・バス・地域内交通を定額で利用できる1日乗車券「オフピー-9(ク)バス」を販売中!

JR宇都宮駅西側のまちづくり
JR宇都宮駅西口周辺地区の整備
東部の玄関口にふさわしい魅力あふれる空間を創出するため、官民一体となったまちづくりを推進

ウォーカブル空間の創出
「街なかの空間」を官民協働で人中心の居心地の良いウォーカブル空間へと変えていく施策を展開

▼2050年に向けたJR宇都宮駅西口周辺地区の将来イメージ

▼都心部のウォーカブル空間の将来イメージ

うつのみやの実力

5年連続全国トップ5!

◎共働き子育てしやすい街 ※1 **第4位**
◎SDGs先進度 環境分野 ※2 **第1位**

※1 2025年版日経Woman×日本経済新聞社「共働き子育てしやすい街ランキング」20万人以上の都市
※2 日経グローバル「第4回SDGs先進度調査」全国16都市

ライトラインの整備効果

ライフスタイルの変化 (令和7年5月時点)

- 公共交通全体の利便性の向上
「乗車しやすさ」を重視したサービス提供
「乗車しやすさ」を重視したサービス提供
約2.5倍の増加
約17%の増加
- 通勤通学の利便性向上
通勤通学に合わせたサービス提供
約5,000人の増加
約1,200人の増加
- 外出機会の増加
観光客が楽しめる観光地へのアクセス向上
約7%増
- 子育て支援の充実
子育て支援の充実
約20%増加
約18%増加

令和7年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進表彰(内閣府大臣表彰)を受賞!

まちづくりの変化

- ライトライン沿線人口 **約5,600人増**
約10%増 (H24→R6)
- ライトライン沿線の地価
H24→R7 **約9%増** (商業地)
約14%増 (住宅地)
- ある1日の乗降者数における交通量
開業前から **約2,000台減少**

夢や希望がかなうまち「スーパースマートシティ」

100年先も発展し続けるまちの姿である「NCC」を土台に、

地域経済循環社会 地域共生社会 脱炭素社会

の3つの社会が、「人」づくりの取り組みや「デジタル技術」の活用によって発展する「夢や希望がかなうまち」

ネットワーク型コンパクトシティ (NCC)
中心市街地やそれぞれの地域拠点、産業・観光拠点にまちの機能を集約し、それらを利用性の高い公共交通などで連携した都市

1. 人口 2. 経済 3. 環境 4. 文化 5. 社会 6. 教育 7. 健康 8. 安全

9. 防災 10. 観光 11. 産業 12. 交通 13. 環境 14. 文化 15. 社会 16. 教育 17. 健康

宇都宮市は、令和元年7月にSDGs未来都市に選定されています

女性が活躍するまち うつのみや

女性が希望に沿って、様々な分野において個々の能力を発揮しながらいきいきと活躍できるまち「女性活躍リーディングシティうつのみや」の実現を推進しています。

フェムテックの推進
女性特有の健康課題をテクノロジーで解決する「フェムテック」の活用を促進し、すべての女性がいきいきと活躍できる環境づくりを支援

男女共同参画推進事業者表彰「きらり大賞」
令和7年度までに98事業者表彰!

女性のためのLINE相談
LINEを活用し、個人の悩みや不安に寄り添い、女性の相談員が一人ひとり丁寧に対応。匿名・無料で相談可能

女性活躍プラットフォームの構築
女性活躍に取り組む個人・企業・団体等のネットワークづくりを促進し、女性人材の発掘・育成や、好事例の横展開など、あらゆる分野における女性活躍の推進をサポートする体制を整備

共創のまち うつのみや

市民・事業者・団体・行政などが一体となり、市民サービスの向上や新しい価値の創造を目指す、「共創のまちづくり」を進めています。

ミヤ・共創ラボ
地域課題・行政課題の解決に向け、様々な事業者等と手を組み、宇都宮市をフィールドに実証実験を実施
(実証実験などへの支援 上限100万円)

うつのみや未来創造プロジェクト (通称：みやプロ)
官民の若者がつながり、「宇都宮市にあってほしい取組」について議論し、新たな取組を実現。
女性活躍や子育て分野など24事業を導出(令和7年度時点)

東京オフィス
東京圏の多種多様な企業や人と新しい関係を構築し、行政や市内企業との事業連携や協業を促進
約100社の企業をマッチング
10社の企業を誘致(令和7年度時点)

うるま市との友好都市提携
宮まつりでのイッセイ披露や、児童生徒の文化交流、農産物の交流など
令和6年8月3日、本市は沖縄県うるま市と、国内の都市として初めて「友好都市」を提携し、幅広い分野で連携・交流事業を実施

住んでみたい・住み続けたいまち うつのみや

移住者数は令和2年度から令和6年度にかけ、26人から364人 **約13倍に増加!** (令和6年度時点)

宇都宮ブランド・移住定住プロモーション

ライトラインが走り、楽しさや賑わいが溢れる街の姿や子育てのしやすさなど、全国に誇る魅力や強みを生かし、PR動画やデジタルマーケティングなどを活用したプロモーションを展開

「移住」「定住」をサポートする支援策が充実!

移住支援金
東京都からの移住で100万円+aを補助
みや暮らし体験事業
参加費無料で宇都宮市に「お試し移住」
通勤・通学補助金
新幹線による東京圏への通勤・通学が対象
若年夫婦、子育て世帯及び新卒採用者等家賃補助
民間賃貸住宅の家賃を補助

宇都宮市移住定住相談窓口「miya come」
JR宇都宮駅西口の複合施設「ウツノミヤテラス」に常設

●移住や定住に向けた支援制度や住まい、仕事、子育て・教育環境など、多様な相談内容をワンストップで対応
●移住者交流会などの各種イベントも開催され、市内外多くの人が利用

稼ぐ力を強化 **魅力と交流のまち うつのみや** 経済

MICE※による交流の創出 ※企業や団体が行う国際会議や大規模な展示会など多くの集客・交流が促進されるビジネスイベントなどの総称
国際会議などの「MICE」の開催を通じ、「人・モノ・情報」などの更なる交流や賑わいの創出により、地域経済の活性化を推進



宇都宮市でMICEを開催する魅力

① **抜群のアクセス性** ③ **充実したコンベンション開催支援**

東北新幹線で最短 東京駅から 48分 大宮駅から 24分 仙台駅から 65分

■ **補助金** 国内コンベンション 最大 300万円 国際コンベンション 最大 500万円

■ **MICE施設** 1,000人以上収容可能な大型施設 6施設

■ **宿泊施設収容人数** 8,000人以上

▲宇都宮観光コンベンション協会ホームページ



令和8年3月開園！アークタウン宇都宮（東部総合公園）

令和8年11月16日～23日 「ワールドスケートボーディングツアー」開催予定！

ライトライン停留場直結の特性を生かし、国内有数の全天候型のスケートパークなど、アーバンスポーツを核に、遊具や芝生広場などを備え、子どもから高齢者まで多世代が楽しい、賑わい、楽しめる公園

スポーツのまち うつのみや 経済

FIBA3x3 ワールドツアー宇都宮オープナー (令和8年4月24日～26日)

3人制バスケットボールのクラブチーム世界一を決めるワールドツアーの開戦戦「オープナー」を誘致・開催 (会場：ハンバ市民広場、ライトキューブ宇都宮等)

宇都宮ジャパンカップサイクロードレース (令和8年10月16日～18日)



プロスポーツチーム

本市をホームタウンとして活動！

栃木SC(サッカー) 宇都宮ブレックス(バスケットボール)

Astemo 宇都宮ブリッツェン(自転車ロードレース) ホンダヒート(ラグビー)

▲大谷地域観光情報サイト ▲日本遺産大谷石文化HP ▲カリック松が峰教会

楽しい！おいしい！うつのみや 経済

「餃子のまち」

宇都宮市には餃子を扱うお店が300軒以上あるとされており、そのうち145店舗が協同組合宇都宮餃子会に加盟(令和5年度5月時点)

「カクテルのまち」

バーテンダーの全国大会優勝者も多く、その前前はトップクラス。宇都宮市でしか味わうことのできない色・味・香りをお届け！

「ジャズのまち」

数多くのジャズプレイヤーを輩出している宇都宮市では、バーやライブハウスで日常的にジャズを楽しめる！

日本遺産・大谷石文化が息づくまち うつのみや



ものづくりのまち うつのみや 経済

R&D※企業の集積

清原工業団地を中心に本市周辺には、グローバル企業の研究開発拠点が集積し、約2万8千人の研究開発人材が在籍 ※Research and Developmentの略

新しい技術や製品、サービスの研究開発

農業王国うつのみや

米【出荷量27,216t 生産額4,780百万円】※1
宇都宮コシヒカリ「みやおとめ」のほか、「ゆうだい12」など特徴ある米も生産

梨【出荷量3,049t 生産額1,242百万円】※2
幸水、豊水、にっこりなど様々な品種を栽培

いちご【出荷量3,736t 生産額5,142百万円】※3
「どちあいか」や「どちおとめ」のほか、「スカイベリー」、「なつおとめ」を生産

▲農業王国うつのみやホームページ ▲農業王国うつのみや Instagram

※1～3 JAうつのみや(R6.3～R7.2)のデータをもとに作成

全国トップクラス **子育てにやさしいまち うつのみや** 人づくり 共生

妊娠前から出産まできめ細かな支援

●妊産婦への医療費の助成や妊産婦健康診査の16回分の助成、産後ケア事業など、幅広く支援
●将来の妊娠を見据え、生活や健康に向き合う「プレコンセプションケア」を推進中！
また、市独自に「プレコンスタートブック」を作成

第2子以降の保育料(0～2歳)の無償化

世帯年収や第1子の年齢を問わず、0歳から2歳に係る第2子以降の保育料を無償化

子ども医療費の無償化

18歳到達後最初の3月31日までのお子さんが、医療機関等を受診した際の医療費(健康保険適用の自己負担分)について、市が全額負担

全天候型子どもの活動場の充実

うつのみや表参道スクエア6階の「ゆうあいひろば(子どもたちのあそび広場)」では、大型アスレチックなどの様々なあそびや読み聞かせ、工作などの活動を提供

令和4年度以降、年間を通した**待機児童ゼロ**を達成！

共に支えあううつのみや 人づくり 共生

皆さまの安全で安心な暮らしを支える「自治会」

●自治会の維持活性化のため「宇都宮市地域で支え合う自治会条例」を施行(令和7年4月)
●飲食店や小売店など、約180店舗で特典を受けられる自治会員優待制度「宮PASS」
●自治会の活性化や負担軽減に資する事業に対して支援

障がい者の「親なき後」への支援の充実

●新たに「親なき後」を見据えた常設相談窓口を障がい福祉課内に設置
●弁護士等による無料の個別相談会を実施

気軽に集まれる交流の場「認知症サロン」

●認知症の方やそのご家族をはじめとした誰もが気軽に集まれる「認知症サロン」を設置
●ランチの提供やお菓子作り、専門職による講話など、それぞれのサロンが特色ある運営

地域交流と生活支援を促進する移動販売の導入

地域や民間事業者と連携し、移動販売の導入を支援

学びをつなぐうつのみや 人づくり 共生

宇都宮学

宇都宮の歴史や伝統文化、産業など、様々な魅力について学ぶ「宇都宮学」の授業を実施し、郷土への愛情や誇りを育成

令和8年度よりデジタル副読本を導入！

百人一首のまち うつのみや

百人一首誕生に関わった5代宇都宮城主・宇都宮頼綱にちなみ「百人一首ゆかりの地」とされており、毎年、かかるたの市民大会や全国大会を実施

2025年国民文化祭で全国優勝！全国レベルの選手を多数輩出

不登校の子どもたちの「安心できる居場所」

学校での様々な取組によっても、どうしても登校できずに困っている子どもたちのために、教育センターを中心とした複数の支援の場を開設

カーボンニュートラルなまち うつのみや 脱炭素

2050年までにCO2排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言

「ライトライン沿線」において「**脱炭素先行地域**」の取組が進行中！

世界に類を見ない取組！ (大阪・関西万博)でPR！

ゼロカーボントランスポートの実現

ごみの焼却や家庭用太陽光発電等で発電された地域由来の再生可能エネルギーをライトラインに供給することで、二酸化炭素排出実質ゼロで、ライトラインを運行するゼロカーボントランスポートを実現

ゼロカーボンスクールの実現

宇都宮市の一部の小中学校において、太陽光発電設備等の導入や、電力会社からの再生可能エネルギー調達等を行い、再生可能エネルギー100%で運営される「ゼロカーボンスクール」を実現

ゼロカーボンムーブの構築

バスや地域内交通のEV化、電動アシスタント自転車の導入促進など、ゼロカーボンムーブの構築を推進

これまで30台導入！